

1 社会・治安情勢

1月3日の米軍による攻撃以降は、昨年末に欠航・運航停止となっていた外資系の航空会社が運航を再開したほか、米国との外交関係が再開するなど、両国間の緊張は緩和されています。他方、米国の介入に対する複雑な想いが残る状況ですので、政治的な話題は避けることをおすすめします。また、徐々に政治的自由が広がる中、平和的抗議活動が拡大しており、当局との大規模な衝突は確認されていませんが、注意が必要です。

2 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

(1) 全般

当地治安当局によれば、2026年1月～3月の全国の犯罪発生件数は前年同期比で約18%減少しました。全国的に殺人や強盗といった凶悪犯罪は昨年から引き続き減少しましたが、自動車を狙った窃盗事件の増加が目立ち、インターネットショッピングを悪用した詐欺事件やフィッシング詐欺事件の増加が顕著です。

(2) 各論

増加している詐欺事件については、売りつけ詐欺のようにショッピングサイト上に虚偽の商品を出品し、購入した被害者を人気の無い場所を指定して呼び出して金銭を要求したりする手口であり、強盗や誘拐に発展することもあります。

3月に、バス内で被害者の隣に座った犯人が、銃で被害者を脅して携帯電話を奪うという強盗事件が発生しました。最近では公共交通機関内での強盗は減少していますが、犯行後、すぐに降車して逃走出来るため、この種の強盗事件は今後もなくなることはないと思われれます。公共交通機関の利用は避けることをおすすめします。

(3) 邦人等の被害事案

なし。

3 薬物・銃器事件発生状況

報道等によれば、1月にチャカオ市内等、比較的安全とされる地域で薬物密売グループが検挙されたという事件や、カラカス西部のカリクアオ地区で麻薬密売にかかる捜査に従事中の警察官がギャングの一員に射殺される事件が発生しました。犯人は既に発見され検挙されたとのことですが、犯罪組織は銃器を使用する可能性が高く、万が一そうした現場に遭遇してしまった場合には、事件に巻き込まれないよう、速やかにその場を離れる等安全確保に努めて下さい。外出の際は、事前に外出先の治安情報を収集し、目的地までの経路や交通手段を十分に検討してください。

4 誘拐・強盗事件発生状況

統計上、2件の誘拐事件が発生しました。その手口として、1件は警察官に扮した犯人が車両で被害者を連れ去ったものと、もう1件は被害者を銃器で脅して車両で連れ去ったとのこと。この種の事件では、事前に犯人が被害者の行動を観察し、入念に準備して犯行に及んでいることが多いため、日常生活での行動のパターン化を避け、普段から金持ちと認識されるような派手な格好をしない等、誘拐や強盗の被害に遭わないよう、周囲に対する警戒を怠らないようにしてください。